

第 1 回 野田市消防委員会

令和元年 8 月 1 6 日 (金)

午前 1 0 時から

市役所 8 階 大会議室

1 開 会

2 市長挨拶

3 委員紹介

4 議 事

(1) 委員長及び副委員長の選出

(2) 消防概況について (報告)

(3) 消防の課題について

(4) 消防組織検討会について

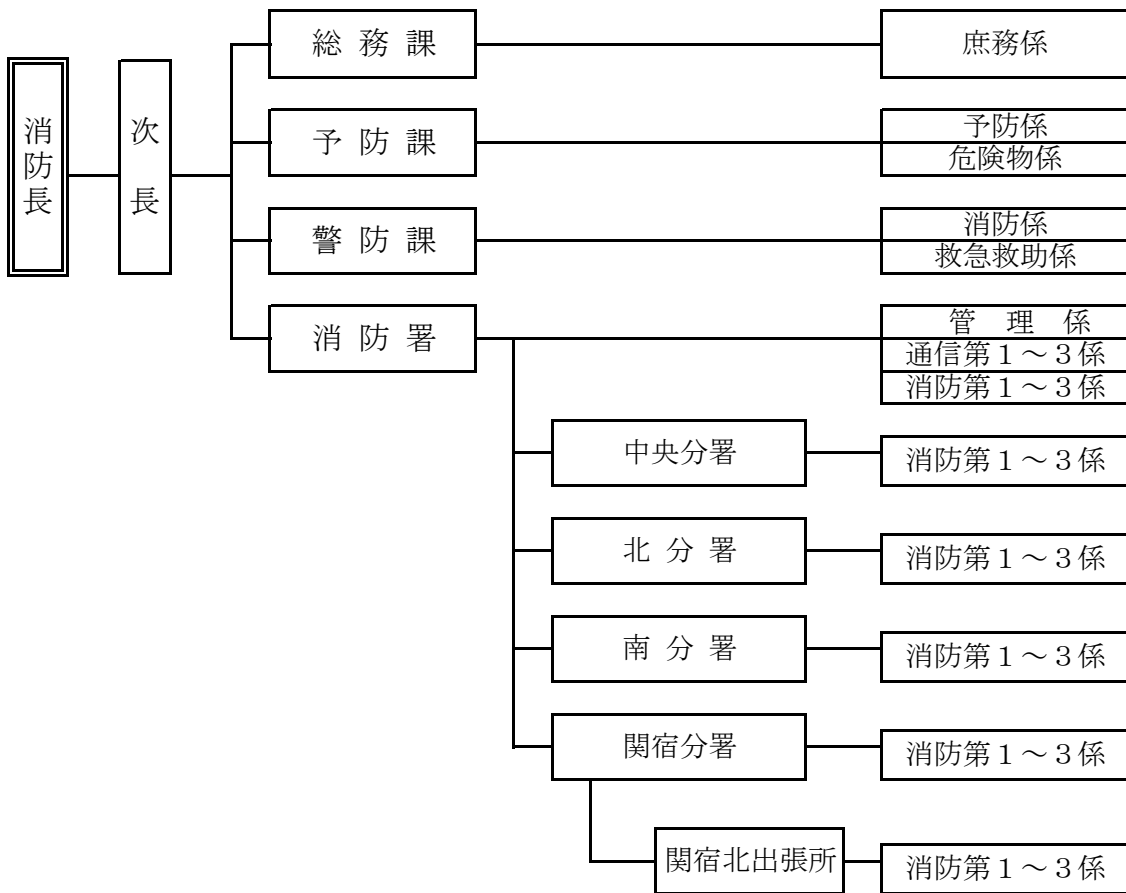
(5) 今後の流れについて

5 その他

6 閉 会

(2) 消防概況について(報告)

1 消防本部組織図



2 消防本部及び署所配置図



3 消防本部及び署所の施設概要

消防本部・消防署



所在地	野田市宮崎126-2
敷地面積	2,327.00m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階
延床面積	994.09m ²
竣工年月	昭和45年6月

中央分署



所在地	野田市中野台172
敷地面積	501.43m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階
延床面積	325.60m ²
竣工年月	昭和46年4月

北分署



所在地	野田市船形1550-2
敷地面積	1,178.17m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階
延床面積	453.00m ²
竣工年月	昭和56年3月

南分署



所在地	野田市二ツ塚139-91
敷地面積	1,358.52m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上1階
延床面積	351.68m ²
竣工年月	昭和60年3月

関宿分署



所在地	野田市東宝珠花435-1
敷地面積	3,616.11m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階
延床面積	1,276.00m ²
竣工年月	平成3年3月

関宿北出張所



所在地	野田市西高野451-4
敷地面積	600.00m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上1階
延床面積	244.37m ²
竣工年月	平成16年7月

4 消防職員数過去5年間の経緯

各年4月1日現在

	算定 人数	充足率 (%)	実数			
			計	男	女	その他
平成26年	237	69.6	165	165		
平成27年	249	66.7	166	166		
平成28年	249	67.5	168	168		
平成29年	249	69.5	173	170	2	1
平成30年	249	71.5	178	172	2	4

※ 算定人数は、消防力の整備指針に基づいた、現有車両台数に対する必要人数である。
 その他人数は、再任用職員

5 災害件数過去5年間の経緯

火 災

	合計	建物	林野	車両	その他	建物焼損 床面積㎡
平成26年	75	38	6	6	25	1,357
平成27年	61	21	5	8	27	598
平成28年	52	27	1	4	20	307
平成29年	54	22	4	5	23	779
平成30年	41	27	1	2	11	1,254

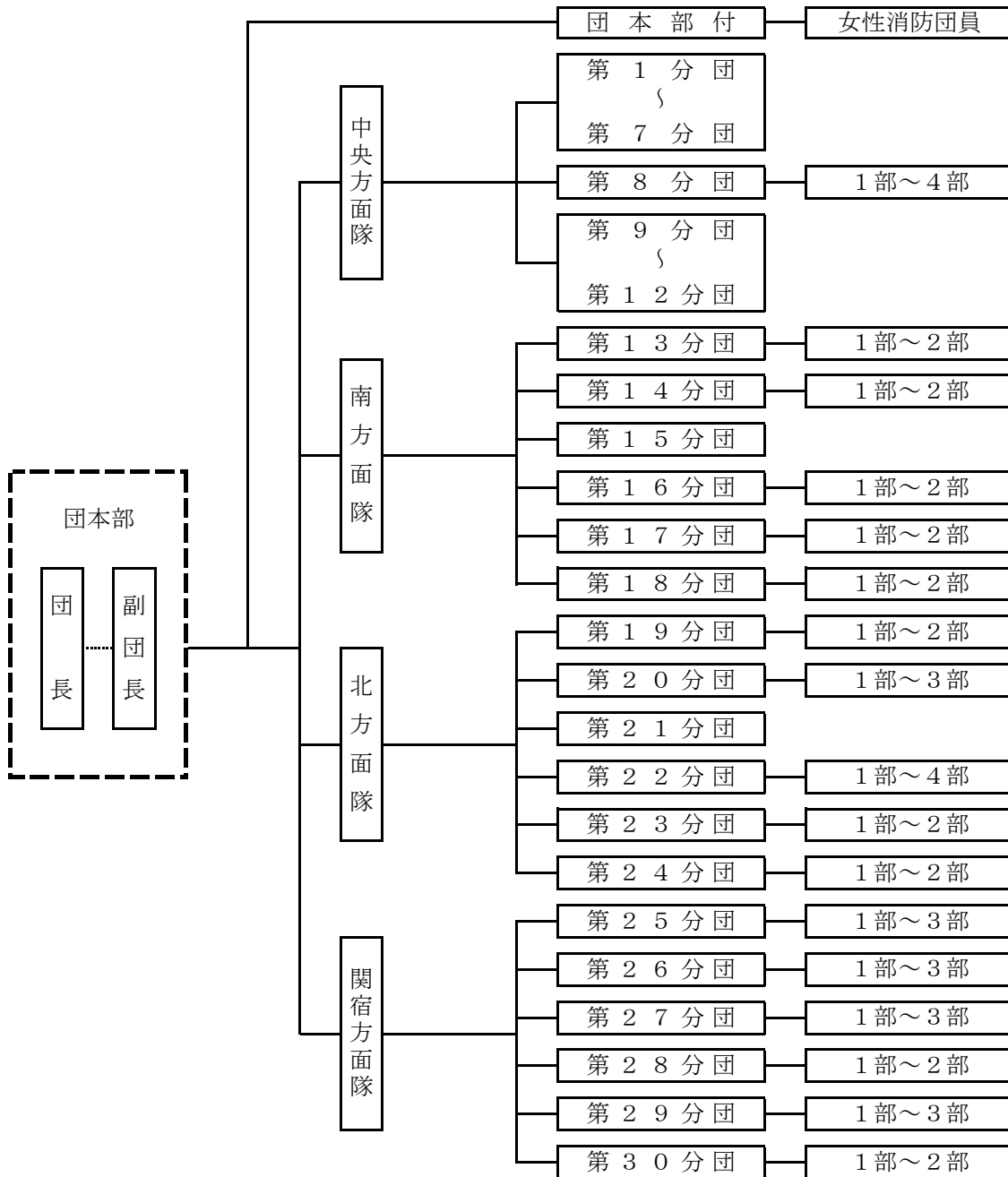
救 急

	合計	急病	交通 事故	一般 負傷	労働 災害	自損 事故	運動 競技	火災 事故	加害	水難 事故	自然 災害	その他
平成26年	6,924	4,409	707	934	79	79	27	54	42	2	0	591
平成27年	7,003	4,565	667	906	96	80	37	45	37	11	4	555
平成28年	7,100	4,593	642	959	79	77	38	33	50	4	0	625
平成29年	7,346	4,762	614	1,042	77	57	34	38	40	2	3	677
平成30年	7,673	5,073	619	1,021	117	69	36	28	51	4	1	654

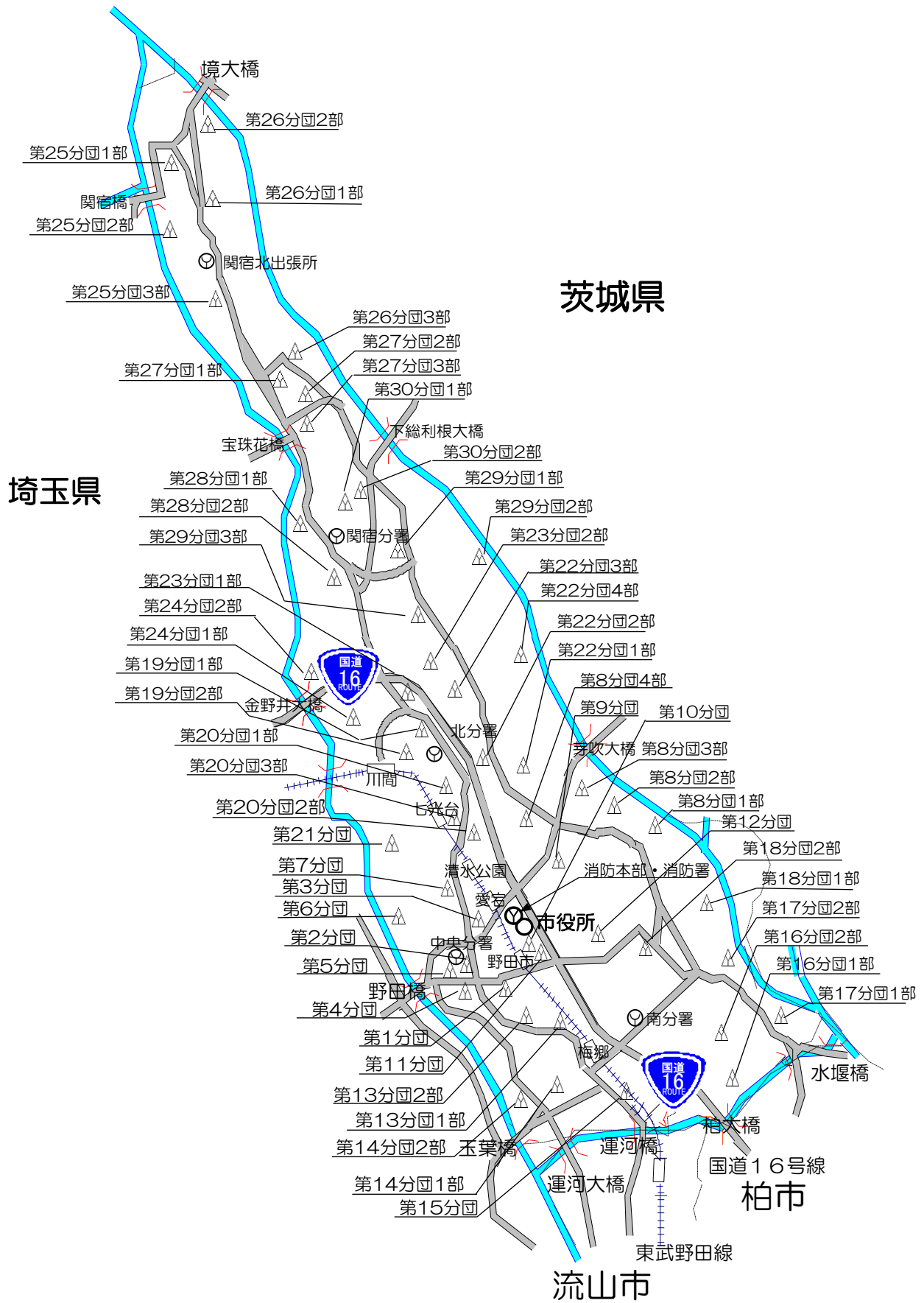
救 助

	合計	火災 事故	交通 事故	水難 事故	自然 災害	器械 事故	建物 事故	ガス 酸欠	爆発 事故	その他
平成26年	100	6	24	5	0	3	27	0	0	35
平成27年	99	1	28	9	4	2	27	3	0	25
平成28年	93	0	29	3	0	5	36	0	0	20
平成29年	99	0	27	3	2	1	26	2	0	38
平成30年	105	0	32	4	1	1	21	0	0	46

6 消防団組織図



7 消防団詰所配置図



8 消防団員数過去5年間の経緯

各年4月1日現在

		定数	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
団本部		26	15	15	15	15	15
中央	中央方面隊	5	5	5	5	5	5
	第1分団	15	15	15	15	14	14
	第2分団	15	14	14	14	12	13
	第3分団	15	14	15	12	12	11
	第4分団	15	14	13	15	14	9
	第5分団	15	14	12	10	7	7
	第6分団	15	11	10	10	9	10
	第7分団	15	11	11	10	8	10
	第8分団1部	15	13	13	14	13	12
	第8分団2部	14	13	13	14	14	13
	第8分団3部	14	12	12	9	8	8
	第8分団4部	14	14	14	12	12	12
	第9分団	15	12	14	12	13	13
第10分団	15	14	15	15	15	15	
第11分団	15	11	11	13	13	13	
第12分団	15	15	14	14	14	15	
南	南方面隊	5	5	5	5	5	5
	第13分団1部	15	9	10	9	9	7
	第13分団2部	14	9	8	8	8	8
	第14分団1部	15	12	12	14	14	14
	第14分団2部	14	4	4	4	4	4
	第15分団	15	13	14	13	13	15
	第16分団1部	15	14	14	14	14	13
	第16分団2部	14	14	13	13	13	11
	第17分団1部	15	14	14	14	14	14
第17分団2部	14	12	12	13	13	14	
第18分団1部	15	14	14	14	14	14	
第18分団2部	14	10	6	8	8	9	
北	北方面隊	5	5	5	4	4	5
	第19分団1部	15	9	9	9	12	13
	第19分団2部	14	10	11	11	9	11
	第20分団1部	15	13	13	13	13	10
	第20分団2部	14	11	11	14	14	12
	第20分団3部	14	13	12	13	9	9
	第21分団	15	15	15	15	15	13
	第22分団1部	15	13	13	13	13	13
	第22分団2部	14	14	14	13	13	12
	第22分団3部	14	13	12	13	13	13
	第22分団4部	14	14	13	11	10	11
	第23分団1部	15	14	12	12	11	12
第23分団2部	14	13	13	12	13	12	
第24分団1部	15	14	14	13	13	14	
第24分団2部	14	13	13	14	14	14	
関宿	関宿方面隊	5	5	5	5	5	5
	第25分団1部	15	15	15	15	13	13
	第25分団2部	14	11	13	11	10	9
	第25分団3部	14	13	13	13	13	13
	第26分団1部	15	11	10	10	10	12
	第26分団2部	14	15	15	12	11	10
	第26分団3部	14	13	14	13	13	13
	第27分団1部	15	14	14	14	14	14
	第27分団2部	14	15	15	14	14	15
	第27分団3部	14	13	15	14	14	14
	第28分団1部	15	12	11	10	10	10
	第28分団2部	14	12	11	11	9	8
	第29分団1部	15	14	14	12	12	12
	第29分団2部	14	11	8	8	7	7
第29分団3部	14	10	8	8	8	8	
第30分団1部	15	7	8	8	10	10	
第30分団2部	14	14	14	14	14	14	
合計		860	736	725	710	690	684
充足率(%)		100	85.6	84.3	82.6	80.2	79.5

9 消防団年間行事予定

実施予定月	行 事 内 容
4月	操法指導(出場分団)
	水出し操法訓練・消防団規律訓練・新規採用職員研修会
5月	野田市水防演習
	利根川水系連合水防演習会(担当方面隊幹部)
	消防団操法大会
6月	東葛飾支部操法大会(出場分団)
7月	消防団幹部会議(幹部)
	千葉県操法大会(出場分団)
8月	
9月	消防団救命講習会(各分団1名程度)
10月	消防殉職者慰霊祭(団長)
	野田市防災フェア(副分団長以上・担当方面隊)
11月	秋の火災予防運動 火災キャンペーン
	消防団長特別点検
	消防団員健康診断
12月	
1月	野田市消防出初式
2月	消防団幹部会議(幹部)
	献血
3月	春の火災予防運動 火災予防キャンペーン
	千葉県消防大会(表彰受賞者)

(3) 消防の課題について

1 消防団について

消防団員は、常備の消防職員とは異なり、平素は生業を持ちながら「自らの地域は自らで守る」という崇高な郷土愛後の精神に基づき、消防活動を行う権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員である。

消防団は、地域密着性・要員動員力・即時対応力の特性を生かしながら、消火活動等をはじめとして、大規模災害時には住民の避難誘導や災害防ぎよ等を行い、更に、地域防災の中核的存在として、平常時においても地域に密着した活動を展開しており、消防・防災力の向上、コミュニケーションの活性化にも大きな役割を果たしている。

しかしながら、社会環境の変化等に伴い、団員数の減少等のさまざまな課題に直面している。

<主な課題>

ア消防団員確保の取組について

- ・ 新たな取組……被用者の消防団への加入促進
 大学生等の消防団への加入促進
 女性の消防団への加入促進
 公務員等の消防団への加入促進
 機能別団員制度の導入
- ・ 身分取扱い……年額報酬の引上げ
 報酬等の支給方法
- ・ 負担軽減……各種の行事等の見直し（操法大会のルールなど）

イ消防団組織の在り方について

- ・ 組織の再編……消防団員定数（分団定数）
 分団数
 管轄区域の見直し

ウ消防団車両、消防団器具置場の更新

2 常備消防について

常備消防は、災害の大規模化、住民ニーズの多様化等、近年消防を取り巻く環境は急速に変化しており、消防はこの変化に的確に対応しなければならない状況である。

しかし、出動体制、保有する消防車両等の住民サービス面や組織管理面での限界、経験豊富な職員の退職、更に、消防拠点の在り方などさまざまな課題に直面している。

<主な課題>

- ア救急件数の増加……………組織や出動体制の見直し
- イ複雑多様化する各種災害……………組織の強化
- ウ経験豊富な職員の退職……………若手職員の指導育成（女性職員含む）
- エ消防拠点の見直し……………署所の再編
- オ消防庁舎の建て替え……………消防庁舎等整備計画
(H29～消防庁舎建設検討チーム発足)

(4) 消防組織検討会について

消防組織検討会は、野田市消防委員会条例（以下「条例」という。）第7条第1項に謳われた消防委員会の下部組織であり、消防の組織及び運営に関する事項について、専門的に調査審議をするために、設置することができるとなっているため、消防組織検討会を新たに設置し、数ある消防の課題について調査審議を行い、消防委員会に報告を行います。

つきまして、消防組織検討会の委員及び会長・副会長について、条例第7条第3項及び第4項により、消防長の推薦により委員長の名を頂きたく、消防組織検討会委員の推薦をいたします。

消防組織検討会委員推薦者

敬称略

選 出	氏 名 (4.1 年齢)	役 職 等	備 考
消防職員	内藤 浩幸 (55)	司令長	会 長
	片野 剛 (51)	司令	
	佐塚 和昭 (51)	司令補	副会長
	川田 晋司 (46)	司令補	
	藤井 正則 (50)	司令補	
	竹之内義和 (51)	司令補	
	野本 恵一 (46)	司令補	
	井上 淳一 (43)	司令補	
消防団員	上原 康永 (51)	中央方面隊 方面分団長	
	中村 浩二 (48)	中央方面隊 12 分団長	
	蓮沼 与一 (56)	南方面隊 方面副隊長	
	増茂 健一 (47)	南方面隊 17 分団 2 部副分団長	
	野島 洋一 (45)	北方面隊 方面分団長	
	中島 清彦 (45)	北方面隊 方面分団長	
	稲橋 嘉彦 (39)	関宿方面隊 方面分団長	
	篠崎 雅行 (38)	関宿方面隊 方面分団長	

(5) 今後の流れについて

本日、第1回消防委員会において、野田市消防の概況及び主な課題について、説明させていただきました。

令和元年度これからの消防委員会開催について、説明いたします。

- 9月1日消防組織検討会委員を任命
- 9月～10月消防組織検討会を開催（2回～3回）
消防の課題等を意見交換し、早急な対応が必要な課題を選出し、報告書をまとめる。
- **11月下旬 第2回消防委員会開催**
市長から諮問書の進達、更に消防組織検討会の報告書に対し、内容を確認し意見を頂く。
- 12月～令和2年1月消防組織検討会を開催（2回～3回）
第2回消防委員会の意見を受け、諮問内容を含めた課題の再調査審議を行い、第3回消防委員会に報告書をまとめる。
- **令和2年2月中旬 第3回消防委員会を開催**
消防組織検討会の更なる報告書に対する検討を頂き、一定の結論を出す。